

金時山に行きましょう！

日時：2017年12月24日（日） 天候：曇時々晴 歩数約17000歩 行動時間6時間

集合：JR小田原駅8時

コース：小田原駅（大雄山線）→大雄山駅（バス）→地藏堂→夕日の滝→金太郎分岐→猪鼻砦跡分岐→
金時山（1212m）→矢倉沢峠→金時登山口→仙石（バス）→小田原駅

参加者：熊坂（L） 河野（SL） 市村（SL） 勅使河原 平石 高橋文 中村年 平野 山内 栗田
高橋紀 丹後 平吹 奥村 計14人

「金時山の山頂には『天下の秀峰金時山』の看板が。その奥には雄大な富士山をはっきりと拝むことができます」との熊坂リーダーの呼びかけ。期待に胸ふくらまして、この日の参加者は女性8人、男性6人の計14人。

集合は小田原駅8時。伊豆箱根鉄道大雄山線で大雄山駅へ、箱根登山バスで見覚えのある地藏堂バス停着。2015年6月20日の吉野リーダーによる「金時山ハイキング」のときは金時山から足柄城址を経てここへ下りてきました。前回に続いての参加者は7人（敬称略 中村年SL 河野 栗田 市村 高橋紀 丹後 平吹）。

広場でストレッチをして9時30分出発。曇、この時点はほぼ無風状態。前回、雷で断念した夕日の滝を見て、金時山ハイキングコースへ、酒匂川支流の内川の川渡りを体験。樹林帯を上り猪鼻砦跡分岐、一気に視界が開けて待望の富士山が見えました。頂上直下の鉄階段を上ると金時山山頂、雄大な富士山を背景に全員写真を撮ることができました。（いちむら）



JR小田原駅～大雄山線～大雄山駅～箱根登山バス～地蔵堂バス停

JR小田原駅、大きな小田原提灯が迎えてくれます。大雄山線の車内、女性たちは向かい合って整然と着席、しかしその中に男性がひとり。みなさんから「勅使河原さん良いところ座っているね」に勅使河原さん動じず笑顔。先頭側にカメラマン含めて5人、熊坂リーダーはこの日のコース確認の様子。山内さんいわく「こちらの5人はアフター行く組ですね」。大雄山駅では「熊」にまたがった金太郎がサンタクロース姿で迎えてくれました。そうでしたこの日はクリスマスイブでした。

箱根登山バス4番乗り場、9時丁度発に乗車、酒匂川に合流する狩川沿いを走り、9時17分地蔵堂バス停着。バス折り返しの広場で入念にストレッチ、熊坂リーダーからコース説明、今日は1212mの金時山健脚コース。みなさん聞きもらすまいと真剣な表情です。9時30分に出発。



地蔵堂バス停～金太郎の遊び石休憩所～夕日の滝バンガロー～夕日の滝

少し上りの車道を歩きます。金太郎の遊び石休憩所がありました。肝心の遊び石は少し下のところで見過ぎてしまいました。ベテランの男性3人は、カメラに向かって余裕の表情です。イノシシの毛皮が干してありました。ブロッコリー畑、キャベツ畑を眺めながら「夕日の滝バンガロー」を経て夕日の滝へ。滝を背景に記念写真。内川に架かる朱塗りの欄干の橋でもう1枚。



夕日の滝～足柄ハイキングコースとの分岐～金太郎ハイキングコース

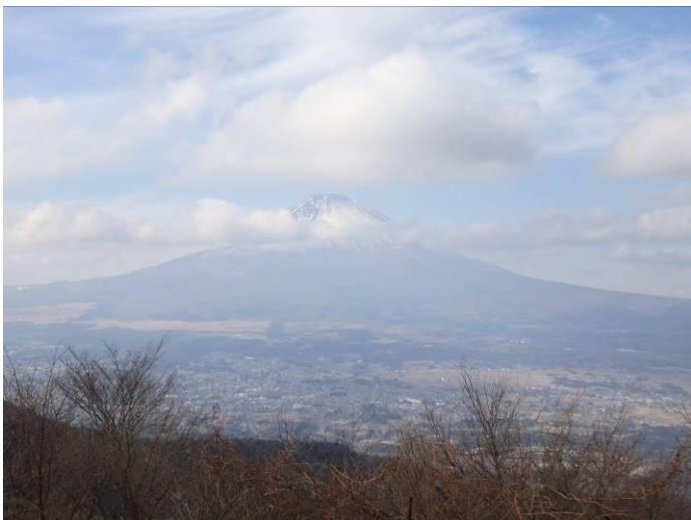
夕日の滝10時10分出発。杉林の道を上ります。整然とした隊列に、熊坂リーダーから最後尾を歩いている私に「市村さん、集団で歩けるからトランシーバー必要ないね」と声がかかりトランシーバーはリックに。河野サブリーダーが最後尾引き受けてくれることになり、この後ずっとカメラマンに専念できました。内川の川渡り、「エー、ここ渡るの」の声が出る中、リーダーの誘導でロープ伝いにわたる人、慎重に飛び石を渡る人。石がゴロゴロの足場の悪い上り、樹林帯を歩きます。途中で一息休憩、「チョコレートいかが」「飴もあるよ」と和やかな雰囲気。すれ違うハイカーもいません。再スタート、内川の源流も近いのか川幅が狭くなります。



金太郎ハイキングコース～猪鼻岩跡分岐（夕日の滝分岐）

金太郎ハイキングコースが続きます。杉林のところに神奈川県森林公社分集造林地の看板がありました。尾根道に出てひと休憩。来年80歳大山の高橋文さん、3番手で元気です。竹林を抜けると猪鼻岩跡分岐へ、12時05分。待望の富士山を見ることができました。「例年に比べて雪が少ないね」との声もありました。

猪鼻岩跡説明版には「猪鼻岩は、金時山から足柄峠方向へ下る尾根の最初のピークに位置しており、御殿場側から望見すると、ちょうど猪の鼻の先端部の形に見えるため猪鼻岩と名付けられたものと思われる」と書かれていました。



猪鼻岩跡分岐～尾根道～鉄の階段～金時山山頂（1212.4m）

猪鼻岩跡分岐で水分補給、平吹さん差し入れの大学芋（冷凍の袋のまま持参、丁度食べごろ）が、空腹のおなかに、元気が出ました。「高尾山山頂40分」の標識を背に12時12分出発。景観良好、軽やかに尾根道を歩きます。ところが山頂直下の30分の急坂が待っていました。鉄階段では息も上がります。15年のときは一部梯子だった記憶があるのですが……。後方には富士山が見えます。女性のどなたか、「富士山ありがとぉ～」と大きな声が何度か響きます。12時55分、リーダーの許可を得て山頂一番乗りは中村年代さん。Vサインでカメラに答えてくれました。続いて熊坂リーダー。



熊坂リーダーの的確なリードと仲間の励ましあいでも金時山山頂に！

天下の秀峰金時山へ次々と登頂。高橋文さんはガッツポーズ、勅使河原さんは余裕のVサイン、高橋紀子さんは笑顔のVサイン、山内さんはダブルWサイン、栗田さんと奥村さんは左手でVサイン、平野さんも左手で笑顔のVサイン、最後は安定感抜群で頼もしい河野サブリーダー。全員掲載できなくて申し訳ありません。そういえばカメラマンの写真一枚もありません。熊坂リーダーの的確なリードと仲間の励ましあいでも全員無事に金時山山頂に立つことができました。山頂直下の鉄階段はまさに「登る」。かなりハードでした。雄大な富士山と山頂直下の鉄階段を仲間と共有できたこと、これが嬉しいです。



具沢山美味しい豚汁が冷え切った体を温めてくれました

山頂で昼食。熊坂さんが下準備して持参した具沢山の豚汁、平野さんが風の無いところで温めてくれました。「美味しい」「冷え切った体が温まる」の声がお代わりする人もいました。



金時山山頂は静岡県との県境で山小屋もふたつ

金時山は神奈川県箱根町と南足柄市、静岡県小山町の境に位置する山で標高は1212.44m。箱根町の山頂標識は標高1213m、金太郎茶屋があります。小山町の山頂標識は1212m、金時茶屋（金時娘の茶屋）があります。写真は、昨年5月に登ったときの6枚。金時茶屋には登山者記念名簿があり、何百回と登った人の木札が下がっています。



クリスマスイブの金時山山行、全員事故なく下山！

14時05分下山開始。上りより楽とはいえ急峻な下りです。岩場ではロープを使い慎重に下りる所もあります。15時15分登山道を下り一般道へ、ホッとするときです。15時25分金時登山口着。標準コースタイムの1時間20分丁度で下りきりました。最後尾を歩いて安全確認していただいた河野サブリーダーに感謝。広場で、がんばってくれた体を入念にクールダウン。仙石バス停から帰路のバスに乗車、出山バス停手前から湯本バス停まで渋滞でした。17時少し過ぎ小田原駅バス停着。アフターは、山内さんが予想した5人で。心穏やかにクリスマスイブの金時山山行、全員事故なく下山しました。さあ～2018年も頑張ろう！と心あらたに・・・

